

「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等(平成25年8月分)について

(1) 問い合わせ件数

平成25年8月1日～平成25年8月31日 75 件

(うち、放射性物質関連 6 件)

(2) 内訳

項目	件数	主な内容
① 食品安全委員会関係	12 件	
委員会	4 件	委員会の議題(1 件)、リスク管理機関との関係(1 件)、食の安全ダイヤル(1 件)、TPP(1 件)
リスクコミュニケーション	8 件	季刊誌送付関係(3 件)、放射性物質資料関係(2 件)、HP 関係(1 件)等
② 食品健康影響評価関係	12 件	
評価全般	0 件	
化学物質系	7 件	食品添加物(4 件)、ビタミン A(1 件)、メチル水銀(1 件)、動物用医薬品(1 件)
生物系	2 件	カビ毒・自然毒(1 件)、微生物・ウイルス(1 件)
新食品	2 件	遺伝子組換え食品(1 件)、特定保健用食品(1 件)
BSE	0 件	
その他	1 件	放射性物質(1 件)
③ 食品一般(リスク管理等)関係	48 件	
化学物質系	6 件	動物用医薬品(2 件)、農薬(1 件)、器具・容器包装(1 件)、鉛(1 件)、トランス脂肪酸(1 件)
生物系	4 件	自然毒(4 件)
新食品	1 件	健康食品(1 件)
プリオン	4 件	全頭検査(1 件)、米国産牛肉(1 件)、アイルランド産牛肉(1 件)、ティーボーンステーキ(1 件)
衛生関係	25 件	安全性(8 件)、衛生管理(4 件)、輸入食品(4 件)、食中毒(3 件)、異物混入(3 件)、アレルギー(2 件)
食品表示関係	5 件	原料原産地表示(1 件)、食品添加物表示(1 件)、遺伝子組換え食品表示(1 件)等
その他	3 件	放射性物質(3 件)
④ その他	3 件	

(参考) 問い合わせ件数推移

平成 24 年					平成 25 年							
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
49	68	88	74	56	57	61	66	96	64	60	61	75

(3) 主な質問とその回答

① 食品健康影響評価関係

【化学物質系】

・妊娠に気づかず2週間程度貧血防止のため毎日レバーを30g位食べてしまった。妊娠中のビタミンA過剰摂取は良くないことを最近知り、胎児に影響がないか不安である。

⇒ ビタミンAは妊娠前～妊娠後3か月は過剰に摂取しないことが推奨されている。ビタミンAは過剰に摂取すると体内に蓄積されるので、長期間継続して食べない方がよい。摂取量が30gは推奨量より少し多めではあるが、2週間程度と限られた期間であるので、過剰に心配することなく、今後は医師とも相談の上バランスのよい食生活に心がけていただきたい。

・食品添加物のリスク管理は厚生労働省で、リスク評価は食品安全委員会で行うということだが、食品安全委員会で決める基準は一日摂取許容量（ADI）だけか。食品添加物のADIや基準値は、アメリカではどうやって決めているのか。

⇒ 日本では食品添加物について、食品安全委員会が動物実験等の結果から、毎日一生涯にわたって摂取し続けても健康に悪影響がないと推定される一日当たりの摂取量（ADI）を設定し、それを超えないように厚生労働省が使用する用途や基準値を定めている。

意図的に使用されていないにもかかわらず食品中に存在する化学物質（重金属、カビ毒など）のリスク評価では、耐容一日摂取量（TDI）、耐容週間摂取量（TDWI）なども設定している。

アメリカでは食品添加物はFDAが担当していて、FDAのホームページで添加物の情報が得られる。ADIを設定して、それをもとに基準値を決めるのは、先進国ではどこも同じで、ADIについては日本と海外の数値が同じであることも多い。使用基準など基準値については、その国の食品摂取の傾向などを踏まえて決められるので、国によって異なる。食品安全委員会や厚生労働省のホームページでも食品添加物の情報を掲載しているので、見てほしい。

【生物系】

・モロヘイヤのつぼみの部分に毒はあるのか。

⇒ モロヘイヤの種子には強心配糖体（強心作用のある成分）が含まれことが知られ、誤った摂取は、めまいや嘔吐などの中毒を起こす。なお、長崎県の農家で、実のついたモロヘイヤを食べた牛が死亡するという事例が報告されている。

モロヘイヤに含まれる強心配糖体は成熟した種子で最も多く含まれるほか、成熟中の種子、成熟種子の莢（さや）、発芽からしばらくたった若葉などにも含まれるが、収穫期の葉、茎、根、並びにつぼみ発生期の葉、茎、つぼみには含まれず、野菜としてのモロヘイヤ、モロヘイヤ健康食品、モロヘイヤ茶などからも検出されないことが報告されている。